

読書感想文の書き方

低学年用
下書き

本の題名

作者の名前

感想文を書き始める前に、文章の骨組みとなる、ことがらを書き出してみましよう。

1 書き出し (どうしてこの本をえらんだか・自分が一番強く思ったことなど。)

例 「チョコレート戦争」という題名と、表紙の絵で、おもしろそうだと思って、読みました。／わたしも、いつか○○みたいになりたいなあ。

2 あらすじ (いつ／どこで／だれが／なにをしたか、簡単に短くまとめよう。)

例 エルマーはネコと出会った後、ベリベリ島にりゅうの子どもを助けに行きました。

3 自分の心の動き (この出来事におどろいて、こんなふうに思った・この部分がおもしろかったなど。)

例 エルマーが、色々な道具を使って、動物たちをごまかすのが、とてもおもしろかったです。

4 なぜ心が動いたのか (自分も似たようなことをしたことがあり、気持ちがよくわかるからなど。)

例 ほくがもし、明と光一のように、大人に信じてもらえなかったら、きっと、すごくくやしくていやな気分になろうと思います。

5 本から学んだこと (○○を大切にしようと思った・自分も○○でできるよつになりたいなど。)

例 わたしもエルマーのように、こまった時でも、いろんなくふうが出来るよつになりたいです。

全部書いたら、下書き用の原稿用紙やノートに、感想文を書いてみよう。

